

# 吉本最高顧問 （一財）脳神経 疾患研究所

## 晴れの「瑞宝大綬章」祝う



招待者をお迎えし談笑する  
吉本最高顧問（中央）と渡邊理事長（左）

### 渡邊理事長 南東北グループも名誉

今春「瑞宝大綬章」を受けた（一財）脳神経疾患研究所の最高顧問で元東北大学総長の吉本高志氏の叙勲記念祝賀会は6月20日（水）午後5時半から郡山市のホテルハマツで開かれました。

医学・大学関係者や脳神経疾患研究所を中心とする南東北グループ各施設の役員ら約150人が出席。脳神経疾患研究所の渡邊一夫理事長が「吉本先生の受章は南東北グループにとってもこの上ない名誉であり喜びです。先生には今後とも地域医療の発展のためにご尽力をお願いします」とあいさつしました。国民民主党幹事長代行の

増子輝彦参議院議員、山形大医学部先進医学講座の嘉山孝正特任教授、文部科学

省研究振興局の磯谷桂介局長、大学入試センターの荒井克弘名誉教授が吉本最高顧問の功績をたたえ、祝福の言葉を贈りました。この後、吉本最高顧問があいさつに立ち「天皇陛下から『これからの社会に尽くしてほしい』というお言葉がありました。今後も南東北グループの『すべては患者さんのために』という理念の下で、社会に貢献していきたい」と感謝の言葉を述べました。

東邦銀行の北村清士頭取の発声で乾杯し和やかに歓

談しました。会場では郡山市の民謡歌手・伊藤はじめさんが「郡山餅搗（つ）き唄」などを披露し、お祝いムードを盛り上げました。吉本最高顧問は東北大学長のほか、大学入試センター理事長、社団法人日本脳神経外科学会初代理事長、日本学術会議会員などを歴任。脳神経外科という同じ研究分野を歩んできた脳神経疾患研究所の渡邊理事長の招きを受けて、平成25年4月に同研究所の最高顧問に就きました。長年にわたる研究と教育に尽力した功績で瑞宝大綬章では最高位の瑞宝大綬章を受けました。

## はしか予防 ワクチン接種を

福島県内の医療機関で6月に受診した20代の外国人女性がはしか（麻疹）と分かりました。患者は東南アジアから来県した女性で、入国前に感染したとみられます。県内でははしか感染者が出たのは4年ぶりということ

口の粘膜に白く小さな斑点ができます。39度前後の高熱が出て、全身に小さい発疹が広がります。

はしかウイルスは空気感染を含む非常に強い感染力があります。はしかにかかると、身体の抵抗力が落ちて、中耳炎や肺炎、さらには死の危険がある脳炎といった合併症が起こりやすくなります。はしかは、2度のワクチン接種をすればほぼ完全に防げます。日本は2015年に、はしかウイルス撲滅状態が事実上認定されました。ところが、最近20代、30代を中心に再び感染が報告されるようになっています。この世代は、ワクチンを1度しか接種していないか、1度も接種していない人が多かったためとみられています。

ワクチン接種をしたことがない人、分からない人は医療機関で医師に相談するのがよいでしょう。

### 当院の目標

- 患者さんに公正な医療を提供します。
- 医師による説明と、患者さんの選択に基づく医療を進めます。
- 患者さんのプライバシーを尊重します。
- 診療情報を患者さん自身にお伝えします。
- より良い医療が行われるよう研修・研鑽いたします。
- 患者さんの人生が最後まで豊かであるようにその意思を尊重します。

### 陽子線治療実績

2018年6月末まで  
(2008年10月開院以降)

がん陽子線治療センター  
HPはこちら

